

2025年度東京土建練馬支部役員選挙当選者

東京土建練馬支部第68回定期大会
選挙管理委員長 菊池 純子

Table with 3 columns: 役職(定数), 氏名, 所属分会. Lists executive and advisory committee members.

※以上、届け出順

Table with 3 columns: 氏名, 所属分会, 備考. Lists candidates for various roles.

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 所属分会. Lists candidates for specific roles like 四役待遇 and 支部女性会会長.

※住友さんは支部執行委員としても選出されているため、支部執行委員とします。
※中山さんは支部常任執行委員としても選出されているため、支部常任執行委員とします。

各専門部の議案 練りに練って



執行部の提案に耳を傾ける第1分科会の代議員

第2分科会 (賃金対策部・技術対策部)

第2分科会は28人(役員4人、代議員22人)が出席。執行部の和嶋英人賃金対策部長(副委員長)、渡辺直樹書記次長(技術対策担当書記)、吉田健一郎書記(賃金対策担当書記)が、それぞれの2024年度総括、25年度方針を提案しました。

第3分科会 (仕事対策部・労働対策部)

第3分科会は34人(役員6人、代議員24人、特別代議員4人)が出席。執行部から自己紹介を行い、出席者へ意義のある分科会にできるような取り組みを提案しました。

第4分科会 (組織部・事業所対策委員会)

第4分科会は計34人の部が把握している例えは「『賃金額』の相場を、名目出夫執行委員(春日)の議長のもと、各担当書記による2024年度総括の提案につき、小玉祥子組織部長(兼事業所対策担当役員)による25年度方針がそれぞれ提案されました。

第5分科会 (厚生文化部・後継者対策部・青年部)

第5分科会は役員5人、代議員24人、特別代議員4人の計33人が出席。2024年度総括、25年度方針を執行部の伊藤慶一郎執行委員長、武石誠厚生文化部部長、赤松雄太青年部長が提案しました。

第6分科会 (教育宣伝部・憲法平和対策部・女性の会)

第6分科会は37人(役員5人、代議員25人、特別代議員7人)が出席。執行部の三角真弓教育宣伝部長(副委員長)、西川忠大憲法平和対策部長、神尾恵美女性の会会長がそれぞれの2024年度総括、25年度方針を提案しました。

第7分科会 (財政部)

第7分科会は33人(役員7人、代議員21人、特別代議員5人)が出席。肥野信彦部長(副委員長)から財政部の2024年度総括ならびに25年度方針の提案がなされました。

退任された支部役員

加藤忠さん(常任執行委員・西大泉)、神尾恵美さん(支部女性の会会長・常任執行委員待遇・田柄)、中尾幸一さん(執行委員・北練馬)、金澤智さん(執行委員・中村)、佐渡則年さん(支部シニア友の会会長・執行委員待遇・高松)、住友かつ子さん(支部女性の会事務局長・執行委員待遇・石神井台)、佐藤大地さん(書記次長・書記局) 渡辺直樹さん(書記次長・書記局)

馬支部第68回定期大会・分科会報告(要旨)

第1分科会(社会保障対策部・税金経営対策部・シニア友の会) 第1分科会は39人(役員6人、代議員28人、特別代議員5人)が出席。執行部の西川利彦社会保障対策部長、畑澤友美税金経営対策部長、佐渡則年シニア友の会会長がそれぞれの2024年度総括、25年度方針を提案しました。

第2分科会(賃金対策部・技術対策部) 第2分科会は28人(役員4人、代議員22人)が出席。執行部の和嶋英人賃金対策部長(副委員長)、渡辺直樹書記次長(技術対策担当書記)、吉田健一郎書記(賃金対策担当書記)が、それぞれの2024年度総括、25年度方針を提案しました。

第3分科会(仕事対策部・労働対策部) 第3分科会は34人(役員6人、代議員24人、特別代議員4人)が出席。執行部から自己紹介を行い、出席者へ意義のある分科会にできるような取り組みを提案しました。

第4分科会(組織部・事業所対策委員会) 第4分科会は計34人の部が把握している例えは「『賃金額』の相場を、名目出夫執行委員(春日)の議長のもと、各担当書記による2024年度総括の提案につき、小玉祥子組織部長(兼事業所対策担当役員)による25年度方針がそれぞれ提案されました。

第5分科会(厚生文化部・後継者対策部・青年部) 第5分科会は役員5人、代議員24人、特別代議員4人の計33人が出席。2024年度総括、25年度方針を執行部の伊藤慶一郎執行委員長、武石誠厚生文化部部長、赤松雄太青年部長が提案しました。



加藤忠さん(常任執行委員)の退任の思いを語る。加藤さんは支部執行委員としても選出されているため、支部執行委員とします。

ねりほ大根



先百、十数年ぶりに大学のキャンパスを歩こうに話そうと話す学生と教員が目に留まったらふとタイムスリップ。指導教授の言葉を探り出した▼マスコットを自指す学生に、テレビ局の記者も新聞記者も同様、文章をおそかにするは、言わんするのは決定的瞬間を捉えよ、いつ、どんな状況で起きたかを添えければ、意味がない。その役割を果たすのが文筆。だから書きまくれ。そして他者が書いた文章を読みまくれと日頃の鍛錬を求めている▼今、実際に書きまくるシニアが私たちを囲んでいるが、伝える、原稿はやはり言葉、文章ではないか。一言、一文が時に相手を幸福へと導き、時に真逆のことも。伝える側はその力を信じ、一方で畏怖の念も抱かなくてはならない▼要は未来を忘れない。師のメッセージには、ほんの少しも含まれていたのか。先生、ようやく分かりました。(今)

